

顕彰事業

(この方に、この賞を! ぜひご推薦ください)



顕彰事業

社会ボランティア賞

青少年の部

国内外で誠実に責任を果たし継続的に活動している人、地域社会密着型のボランティア活動を地道に行い、貢献している12~25才までの学生またはグループを顕彰します。

社会人の部

国内外で誠実に責任を果たし継続的に活動している人、地域社会密着型のボランティア活動を地道に行い貢献している人、グループ。または日常生活の中で、女性の自立などを様々な形で援助している個人またはグループを顕彰します。

環境貢献賞

大気汚染、土壌汚染、水質汚濁、省エネルギー、ゴミの少量化、分別化、緑化などの分野で地球の環境保全に貢献している個人またはグループ。または環境問題を通じて国際協力している個人またはグループを顕彰します。

青少年指導者育成賞

次の世代を担う若者の中からリーダーを育成するために誠実に活動している指導者を顕彰します。

千 嘉代子賞

国際理解促進あるいは国際文化交流に顕著な功績のあった日本人に贈呈します。

援助事業

国内・国際奉仕

財団の目的に適合する活動を行う個人またはグループに対して援助します。



国際ソロプチミストアメリカプロジェクト

・女性に機会を与える賞(WOA)

教育や職業訓練によって自己の雇用状況と家族の生活水準を向上させるために財政的援助を必要としている女性を援助します。特に扶養家族に対して主な経済的責任を負っている女性を考慮します。

・ヴァイオレット・リチャードソン賞

地域や学校でボランティア活動に従事する若い女性を表彰します。この賞は、ソロプチミストの初代会長にちなんで設けられました。

・女性のために変化をもたらす賞

自らの専門職やボランティア活動を通して女性と女児の生活を向上させるために努力した女性を称えます。

クラブ賞

女性栄誉賞

【対象・資格】ソロプチミスト6分野(経済的社会的開発奉仕・教育奉仕・環境奉仕・人権/女性の地位・国際親善と理解活動)の少なくとも一つの分野で10年以上にわたり地域社会で顕著な業績を積んだ女性を表彰する。

発行

2006年6月30日

国際ソロプチミスト熊本-さくら

広報委員 関 幸枝・西釜幸子・三井邦子

例会日時/毎月第3水曜日

10:00~13:00

例会場/ホテルニューオータニ熊本



SOROPTIMIST

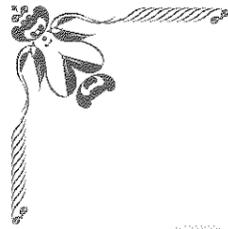
Best for Women



私たちの歩み No.9

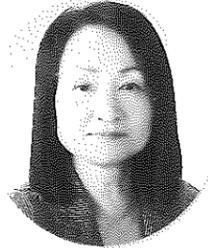
2005年7月~2006年6月活動報告

国際ソロプチミスト
熊本-さくら



1年をふり返って

国際ソロプチミスト熊本-さくら
第12期 会長 成松 真理子



ソロプチミスト誓約の中に「奉仕の尊さ」と言う一節があります。自分の活動に迷った時、この言葉は私の心に優しく響いてきます。奉仕

はする方も、される方も喜びをもってこそ尊いのでしょう。

私達はこの12年の歩みの中で色々な人と出会い、プログラムの達成・喜び・友情…等を通じボランティア精神を育てて来ました。忙しい日々を送る会員の皆さんも、それぞれの仕事とボランティアの活動を通して得た貴重な体験が、一人一人の個性となって新鮮な発想が生まれ活動へとつながっていている事を実感しています。

リジョンが機構改革を実施し「ルネッサンスキャンペーン」も2年目に入り、私達さくらもその流れを自然に受け止め、各委

員会もリジョンの指針に沿ってキャンペーンゴールを目指しています。

今期は、ユースフォーラムが被爆60年を記念して長崎で開催され「今、世界平和を考える」というテーマで参加した高校生たちが活発に意見を述べていました。

又、日本財団賞に応募した慶誠高等学校『ペンフレンドクラブ』が社会ボランティア賞の青少年の部を受賞し、地道に継続し活動する若い世代のパワーと行動する事のすばらしさを、改めて高校生に教えられました。

これからも決して気負う事なくソロプチミストとして、女性と女児の地位向上のプログラムに係わり、一人一人が前向きに喜びを持って取り組める活動を目指していけたらと思っています。

ともに活動し、ともに支え合った、この1年を感謝します。

国際ソロプチミスト熊本-さくら 役員名

2005年7月～2006年6月

会長	成松 真理子
副会長(第1)	室原 佳江
副会長(第2)	紫垣 蒼生子
レコーディング セクレタリー	渡邊 桂子
レスポンス セクレタリー	飯田 貴美子
トレジャラー	森 由美
アシスタント トレジャラー	野尻 桂子
1年 理事	土井口 哲子
2年 理事	續 玲子
デレゲート	須古 久美子

国際ソロプチミスト(SI)は…

実業界で活躍する女性、専門職に就いている女性の国際的ボランティア組織で、地域社会、世界中で、女性と女児の生活を向上させる奉仕活動をしています。

顕彰事業

社会ボランティア賞 青少年の部
『慶誠高等学校ペンフレンドクラブ』受賞 2005.11.15



ソロプチミスト日本財団年次大会が、平成17年11月15日広島グリーンアリーナで開催されました。

「社会ボランティア賞 青少年の部」にSI熊本-さくらの推薦する『慶誠高等学校ペンフレンドクラブ』が受賞しました。

このクラブは、1987年から使用済み切手の収集を始め、現在までに、18台もの車椅子を福祉施設に贈っています。その他にも文房具をネパールやペルーの恵まれない子供たちや国内被災地の学校へ届けています。

大会当日は、2年生の小中原成美さんが、成松会長と共に壇上に上がり紹介されました。

(ソロプチミスト日本財団委員会 出田 節子)

チャリティヴァイオリンコンサート

2005.7.3



チャリティコンサートの益金は
「さくら奨学金」
「ふれあいワーク支援」
「さくらDV被害者支援基金」
「国連ハビタット(国連人間居住センター)」
に使われます。

7月3日午後7時から、熊本市総合女性センターにおいて、『豊島泰嗣ヴァイオリンコンサート』が、満員のお客様をお迎えして開催されました。

会場の隅々にまで響きわたるストラディバリウスの弦の音。又パリ在住の児玉桃さんの素晴らしいピアノの音も加わり、皆様、共に素敵なひとときを過ごしました。「心から感動しました。」というお客様の声も多数頂き、皆様のご協力に感謝いたしました。

(資金調達委員会 岡嶋 了子)

文化圏
3日、熊本市黒髪市の総合女性センターであった。国際ソロプチミスト熊本-さくら(成松真理子会長)が高校生への就学援助や家庭内暴力に悩む女性への支援のために毎年開いており、今回で12回目。新日本フィルのコンサートマスターでヴァイオリニストの豊嶋泰嗣さん(東京都)と国際的に活躍するピアニストの児玉桃さん(パリ在住)の二人が共演。ドビュッシー作曲「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ」やブラームス作曲「ヴァイオリンソナタ第2番」などを演奏した。

さくらパーティー(青少年育成事業)

2005.11.19

『第4回 HIV/エイズ学習会』

熊本市国際交流センター 大広間

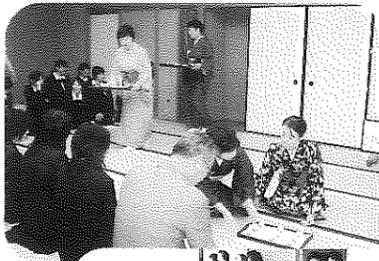


講師
松本 邦代氏
熊本市保健所
感染症対策課 技術参事

エイズ問題の学習会『さくらパーティ』
4年連続して講師をお願いしています。



各グループより発表
先生よりも感想を
いただきました。



静かな気持で
茶道体験



参加高校名	男子	女子
熊本信愛女学院高校		7名
九州学院高校	1名	1名
文徳高校	8名	
熊本高校	1名	1名
熊本工業高校	5名	4名
国府高校	2名	2名
慶誠高校		10名
他先生方	2名	2名

ご協力ありがとうございました。

8回目を迎えるさくらパーティは、青少年育成事業として、留学生との交流で「日本文化を学ぼう」、小学生対象としては「植物をよく観て描こう」などのプログラムを実施してきました。

今回の「エイズについて学ぼう」は、4年目を迎えました。

熊本におけるエイズの現状や、予防対策に詳しい松本邦代氏を講師に迎え、今年は、7高校42名の男女学生と先生方も参加され、講演の後のディスカッション、茶道体験にも、熱心に取り組んでくれました。

今回学んだことを少しでも多くの友人や家族に広めてくれるものと、心から願っております。

(第2奉仕プログラム委員会 田中 英子)

主な継続活動

2005年7月~2006年6月

*さくらチャリティバザー 2005.9.8



日用品など約400点を販売した「さくらチャリティバザー」
=びぶれす広場

熊日新聞掲載

街がど
クリップ
●さくらチャリティバザー 8日、上通町のびぶれす広場であった。国際ソロプチミスト熊本(さくら)成松理事長(左)が毎年開いている。会員らが血や茶わんなどの食器、シャンプーやコーヒーといった日用品など新品約400点を持ち寄り、市価の半額で販売した。バザー開始前から多くの人が詰めかけ、約1時間で完売した。益金は、第14回全国ボランティアフェスティバルと第40回九州地区ろう学校体育・文化連盟熊本大会に寄付する。

*赤い羽根共同募金 2005.10.1



他のボランティアの方たちとパレード



*ユニセフ ハンド・イン・ハンド 2005.12.11



*ふれあいワーク作業所支援(毎月訪問)



*慶誠高校Sクラブ入会式 2006.1.11



卓話

2005.11.16



「熊本市におけるゴミ問題の現状」

西島 喜義氏
熊本市環境保全局 環境事業部長

2005日本南リジョン ユースフォーラム 2005.8.2~3



会場
長崎市ホテルニュー長崎

意見発表する
SI熊本-さくら推薦
熊本県立第二高校
戸石川 由衣さん



クラブ内表彰

2005.12.21
援助事業「国内・国際奉仕」推薦

古川 紀美子氏



イスラム圏の留学生との出会いから、留学生支援システムの必要性を感じ、「留学生の会」を結成。1994年には、インターナショナルネイバース(国際隣人会)を発足させ、医療、法律、教育、福祉などの多様な問題の相談の窓口となり、各方面の情報の提供。一方で、家庭裁判所の調停員として、子どもたちの更生への手助けもされています。

2006.5.18
「女性のために変化をもたらす賞」推薦

一門 恵子氏
九州ルーテル学院大学 教授
心理臨床学科学科長



地域の知的発達障害をもつ子どもたちのデイケアプログラムを実施し、相互支援・相談のネットワークにより、悩みを抱える母親・父親たちにも希望を与えています。
推薦者の清重学長とともに
(ソロプチミスタワード委員会 忽那 美紀)

研修

国際ソロプチミスタアメリカ
第20回 日本南リジョン大会
2006.4.13~14 於：北九州市



新入会員



山田 祐規子
さん



龍石 粹代美
さん

新しく仲間が増え、会員数37名に。
共に楽しく奉仕活動をいたしましょう。

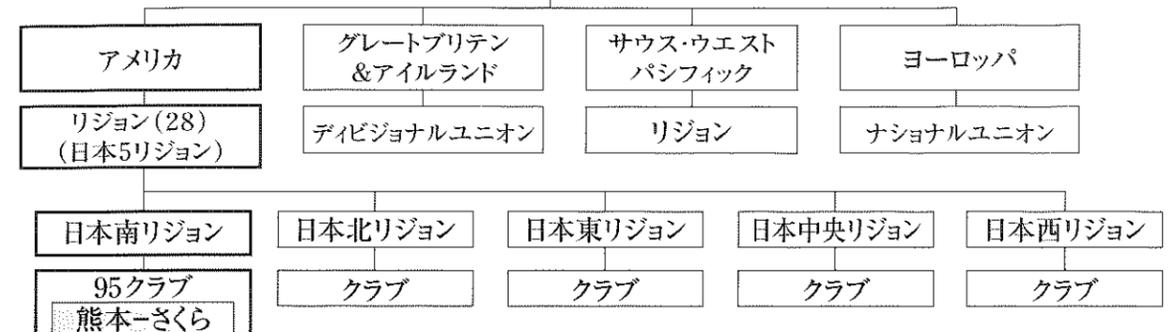
国際ソロプチミスト

1921年に「高い倫理基準」「人権と女性の地位向上」「友愛の精神」「奉仕の精神」を目的にアメリカのオークランドで創立された。専門職、または管理職にある女性たちが組織しているボランティア奉仕組織です。現在125の国および地域におよそ3,200余りのクラブと約93,000名の会員が地域社会や世界各地で様々な形の奉仕を実行しています。

日本では、2006年1月現在、545クラブ、約14,522人の会員が在籍しており、日本南リジョンは日本の5つのリジョンの1つとして、2006年4月現在、95クラブ、2650名の会員を擁しています。教育・保健・環境・人権と女性の地位・国際親善と理解・経済的社会的開発の各分野において、社会奉仕のプログラムを通じて、地域社会で活動を行っています。

組織図

国際ソロプチミスト 本部/ケンブリッジ



熊本県内のソロプチミストクラブ

(国際ソロプチミスト→略称 SI)

	SI熊本	SI玉名	SI熊本すみれ	SI人吉	SI八代	SI熊本-さくら	SIまつばせ
認 証 日	1979.2.9	1983.12.11	1987.2.5	1987.2.23	1988.5.22	1994.3.3	1999.6.3
会 員 数 (06.4.30現在)	52名	19名	48名	22名	30名	37名	16名

国際ソロプチミスト熊本-さくらの主な活動

〈継続の奉仕事業〉

国内

- チャリティーバザー
- チャリティー講演会
- ふれあいワーク支援(社会福祉法人わくわく)
- 青少年育成事業(名称さくらパーティ)
- 赤い羽根街頭募金協力
- ユニセフハンドインハンド募金協力
- 慶誠高校Sクラブ支援
- さくら奨学金(高校生)
- さくらDV被害者支援基金

国外

- アンコール・フレンズ基金
- アフリカ難民救済支援
- 地雷犠牲者援助
- 谷ロプロジェクト(エイズ孤児奨学金)
- ユネスコ・ユニセフ事業協力
- ハビタット(国連人間居住センター)支援

〈その他〉

- 災害地への見舞金
- 顕彰事業への推薦
- ユース・フォーラム
- 熊本犯罪被害者支援

〈本年度の協力事業〉

2006 世界女性スポーツ会議くもと 2006.5.11~14

全国ボランティアフェスティバル大会 2005.10.29~30

九州地区聾学校体育・文化連盟熊本大会 2005.10.19~20

